

# 平成31年度の総合計画市民協働会議に係る意見交換会

日 時 平成30年10月23日（火）

午後6時30分～7時30分

場 所 能代市役所 新庁舎3階 会議室9・10

## 概 要

### 1 開 会

### 2 あいさつ

開会にあたり、企画部長からあいさつがありました。

### 3 事務局等の紹介

事務局の紹介、出席者及びアドバイザーの近況報告等がありました。

### 4 意見交換の目的について

事務局から、資料1及び資料2をもとに、次年度の総合計画の進行管理にあたって、円滑な会議運営を図ることを目的に、策定時の正副委員長及び正副分科会長の方々と意見交換を行う旨の説明がありました。

### 5 31年度の市民協働会議について

#### (1) 会議のあり方について

事務局及びアドバイザーから、資料3をもとに、これまでの経緯や課題等を踏まえて、主に以下の説明がありました。

- ・ 計画の策定に関わった方が進行管理を行う観点から、計画策定時の中心的な立場にあった正副委員長及び正副分科会長の皆さんに、来年度の委員を引き受けていただきたい。
- ・ 総合計画の進行管理における評価が、分野別計画にフィードバックできるような仕組みの構築を図るため、進行管理を行っている委員会等の委員にも加わっていただくことを想定している。
- ・ 策定時と同様に、秋田大学の学生にもサポーターとして加わってもらう予定。
- ・ 開催時期は、7～11月の5～6回程度を想定している。

## (2) 意見交換

(◆出席者、⇒事務局、アドバイザー)

- ◆ 来年度の市民協働会議は、最終的に提案という形でまとめることになると思うが、最終的にどう市政に反映されるか。
  - ⇒ 第1次計画では、いただいた提案に対し、市としてどういった対応をする予定なのか、あるいは検討中なのかなどを、年度末に改めて会議を開催して委員に報告していたが、年度末は委員も多忙が予想されるため、書面で回答することも手法の一つとして考えられる。
- ◆ 計画策定時の市民協働会議では、分科会の中にワーキンググループが自然発生的にできていた。限られた時間の中で議論を進めないといけいないので、メール会議等を積極的に活用してはどうか。
  - ⇒ 会議を円滑に運営できるよう、手法を検討したい。
- ◆ 大学生から報告書等を作成していただき、先生が取りまとめて、中間報告のような形で報告することで、会議の記録として残すことができ、学生の実績にもなるのではないか。
  - ⇒ 昨年度の市民協働会議でも、学生に分科会の報告書を教員に提出させた。その内容をどこまで公開できるかは検討が必要である。
- ◆ 分野別計画のうち、人選が行われない分野も出てくるが問題ないか。
  - ⇒ 進行管理を行っていない計画もあるため、協働パートナーが参加することで補いたい。なお、特定の分野の人が必要になれば、委員又はオブザーバとして参加していただくことも考えている。
- ◆ 協議する分野が多岐に渡るため、自分の専門外のことは意見を出しにくい。
  - ⇒ 市民協働会議は市民目線を大事にする会議であるため、専門外のことについても、一市民の視点で意見を出していただきたい。
- ◆ 開催時間は、平日の夜間の方が都合が良いが、終了時間はある程度固定したほうが、委員も予定を立てやすい。
  - ⇒ 委員の皆さんの負担にならないよう努めたい。

## 6 その他

### (1) 次回の日程について

本意見交換会は、目的をほぼ達成できたため、今回で終了とすることを確認しました。

### (2) その他

## 7 閉会